

◎2016年度の大会規則（ダイジェスト版） 2016. 4. 4

2日（土）に春の大会が本格的に開幕しましたが、大会要項や連盟規則違反が相次ぎ、この2日間の各会場はてんやわんやの状況を呈していました。

各種の規定は様々な変遷、議論を経て、最新の形にとりあえず落ち着いている訳ですので、ご理解いただくためには話を遡る必要がありますが、それは別便で予定している『解説編』をご参照いただくこととし、とりあえず規定の骨子をお伝えします。

以下の内容は理事、副理事だけでなく、必ず現場のコーチ陣に転送し、クラブ内で情報共有を計ってください。

4月10日以降の会場では、各クラブがクラブ内で徹底されているものとし、守れないクラブについては、ペナルティが入る場合があります。

【大会規則】

（1）『8人制』：世田谷区内の公式戦は1・2年生、3年生、4年生の各学年別大会以外はすべて8人制。試合は常時8人で成立。退場者が出た場合はすぐに交代要員から補充し8人にする。

自由な交代制のため、キーパー以外はインプレー中でも主審の許可を得ることなく交代ゾーンからのみ出入りできる。

（2）『審判』。ハトマークフェアプレー杯5ブロック予選は一人審判（主審＋補助審）。それ以外は11人制も含めて、すべて三人制（主審＋副審2＋第4の審判）。

（3）『ベンチの指導者』：ベンチには2人か3人のコーチ、保護者が入ることができる。1人だけや、4人以上は不可。今年度はうち1名が成人で有資格者であること（証明証を常時携帯）

（4）『集合時間』：選手同様、後審は前の試合の終了10分前に大会本部前に集合。審判に抜けることでベンチの指導者、保護者が1人になるのは不可。

（5）『ユニフォーム』：フィールドプレーヤー（以下、FP）は正副2着のユニ、キーパーはFPとは別の正副2着のユニを用意すること。学年別大会や、特段の事情があるときはビブスの代用も認める。

(6) 「選手番号の統一」：前後半でF Pとキーパーを同一選手が行う場合は、F Pとキーパーのときのユニの選手番号（背番号と胸番号など）は同一であること。F Pのときは「8」だが、キーパーは「1」というような形は不可。この場合、キーパーユニに白布を貼り、サインペンなどで「8」と書けば可。

白布を貼るのが面倒な場合はキーパー用に正副のユニ 2 着を作り、その番号に合わせたF P用のユニを 2 着用することも可。この場合、普段は「9」の選手がこの試合だけF Pでもキーパーでも「1」を付けることになる。

区内の大会では選手番号は試合ごとに変更することができる（都大会では事前に届けた番号しか認められない）。

(7) 『リーグ戦』特例：リハウスリーグでは不戦敗の場合、勝ったチームは3-0で勝ち点3。負けたチームは0-3で勝ち点-1（剥奪）とする。

【会場運営規則】

(1) 二子緑地G、駒沢補助G、砧公園G会場では到着の際の本部挨拶は本部設営後、「挨拶受付の準備が整った」との連絡後に行うこと。

本部挨拶が可能になった時点で、マイクメガホンでお知らせします。

小学校会場では、本部設営が整った時点で、入校させているので、入場後、速やかに本部挨拶を行ってください。（会場特有の注意事項があります）

(2) 緑地Gの待機場所について、昨年度はシートを敷くことは不可としましたが今年度からは可とします。待機場所と野球場との間に赤いコーンを置いてあります。アップはコーンと待機場所の間で行ってください。

（多くのチームがコーンギリギリのところで行い、はみ出しています、厳守！！）

(3) 緑地Gでは控え選手用にベンチを用意していますが、コーチが座るのは不可です。必ず、自クラブでご用意ください。

（砧公園では、コーチも使用可です）

(4) 自主運営会場で、緑地G、砧公園Gを提供されるクラブが多くなっていますが連盟運営ではないので、会場物置にある、テント、コーナーフラッグ、ボール、メジャー、審判フラッグ、メンバー表等々、諸々の資材は使

えません。ボール、メジャー、審判フラッグ、メンバー表は提供クラブで
ご用意ください。

(了)